

## 第 15 回日本食海外普及功労者表彰受賞者講演内容（ビデオレター）

富田 憲男

フィンランドに住み始めて 42 年になります富田憲男と申します。このたびは大変名誉のある賞をいただきまして、とても光栄に思っております。これもひとえに在フィンランド日本大使館、そしてジェトロ・ロンドン様のご推薦による賜物と深く感謝申し上げます。

私は 1972 年に横浜からシベリア経由で北欧に渡り、そこから 2 万 2000km にわたるヒッチハイクの旅をしました。それ以降、列車でスペイン、ポルトガル、そして北アフリカに渡り、1973 年の春から拠点をストックホルムに移しました。私は旅行が好きなので、ストックホルムでお金をためては旅行をし、またお金がなくなったらストックホルムに戻ってお金をため、また旅行をするという生活を 1979 年まで続けました。この間、旅行した国は 50 カ国以上に上ります。

その中で一番気に入った国、フィンランドに 1979 年の暮れから住み始め、1986 年には日本のクーリエの会社のフィンランド代理店主として活動を始めました。その会社も 1999 年にフィンランドの会社に譲り、1987 年から妻が始めた日本食材および雑貨の店「東京館」を一緒に運営し始めました。

長年の努力の結果、いまでは多くの固定客が付き、特に日本産米につきましては、フィンランドは人口 550 万の小さな市場ですが、輸入量がヨーロッパ 1、2 を争うまでになりました。そして、今年の 10 月には、航空便を使って日本の新鮮な野菜、果物、生鮮魚介類、そして神戸和牛、尾崎和牛を輸入し、フィンランドの大手スーパーとタイアップしてジャパンウィークを開催しました。コロナのため 2 年近く日本にも行けない多くの在留邦人の方から大変喜ばれ、改めて食の持つ偉大な力を再認識した次第でございます。

微力ではございますが、今後もフィンランドに日本の食文化、日本の食材を浸透していくために努力する所存でございます。本日は本当にありがとうございました。